日本バプテスト小倉キリスト教会

新しい息吹き～オルガンと共に～

伝道開始130周年記念

JAPAN BAPTIST KOKURA CHRIST CHURCH

130th

聖　句

See, I am doing a new thing! Now it springs up;

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。

イザヤ書 43:19a

目　次

牧師挨拶　日本バプテスト小倉キリスト教会牧師　山本　龍一郎 ―― 1

祝　辞　日本バプテスト小倉キリスト教会元牧師　金子　純雄 ―― 2
日本バプテスト小倉キリスト教会元牧師　桐本　恒雄 ―― 3
日本バプテスト小倉キリスト教会元牧師　角本　尚彦 ―― 4
湧金幼稚園元園長　金子　洋子 ―― 5

教会員インタビュー
日本バプテスト小倉キリスト教会員　廣木　巳喜雄 ―― 6
日本バプテスト小倉キリスト教会員　川野　隆子 ―― 7

伝道開始130周年記念事業　記念礼拝プログラム ―― 8
リード･オルガンコンサート ―― 9

教会アルバム130年の思い出 ―― 10

教会略史 ―― 12

記念礼拝集合写真 ―― 15

2020年度現在会員 / 記念事業実行委員 ―― 16

日本バプテスト
小倉キリスト教会
牧　師
山本 龍一郎

伝道開始 130 周年に寄せて

日本バプテスト小倉キリスト教会は、1891年2月11日バプテストの教会としては、若松教会に続き北九州で二つ目の教会として、伝道を開始しました。思えば昨年、“130年を迎える節目に、礼拝と記念事業を “という思いが教会員の内に示されたこと、その思いが集結しここに実現するに至ったことは、神の御心であったと確信しております。この記念事業を通して、これまで小倉の地で伝道に尽力された先達お一人おひとりに、深く思いを馳せる機会が与えられました。記念冊子制作にあたりましては、歴代牧師の諸先生方及び、湧金幼稚園元園長先生よりお言葉を寄せていただきましたこと、深く感謝申し上げます。

また記念事業として教会のリード・オルガン（1958 年製）を修復し、2月 14 日には伝道開始130周年記念礼拝を捧げたのち、コンサートを開催致しました。当日、素晴らしい演奏をしてくださった福田のぞみ先生、本当にありがとうございました。コンサートでは、甦ったオルガンの音色が、新しい息吹きとして高い天井まで会堂いっぱいに豊かに響き渡りました。このオルガンと共に、教会がこれからも神のご栄光のために、最善を尽くすことができますよう、心から願います。そして皆様には引続き、当教会の働きを覚えお祈りいただければ幸いです。

今回、オルガン修復の労を担って下さった福田先生、神よりの賜物を携え、心を尽くし力を尽くして下さった工房の和久井様、井土様のお働きには大変励まされました。また多大な献金でお力添え頂いた「風琴よみがえりの会」の皆様や、心こもったご支援の献金を下さった沢山の方達に厚くお礼申し上げます。そして、本教会のために祈りお支え下さり、この記念冊子を手にとって下さった皆さまに、神の祝福が豊かにありますようにお祈り申し上げます。

最後に、今回記念事業のあらゆる企画や冊子制作の奉仕を担った兄弟姉妹の労に、改めて感謝します。すべては主の導きと信じます。教会員それぞれが、このような機会を通して自らの人生の出来事として教会史を振り返りつつ、新たな時代へ向けて信仰を語り継ぎ、その道を、一歩ずつ歩んでいくことでしょう。
日本バプテスト小倉キリスト教会に、より大いなる希望が、神によって与えられますように。

「わたしはアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。
初めであり、終わりである。」（ヨハネの黙示録 22:13）

栄光在主

日本バプテスト
小倉キリスト教会
元牧師
金子 純雄

いつも全力を注いで

伝道開始 130 周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

2021 年 2 月 14 日には記念行事として、1958 年に導入されたオルガンを修復して記念演奏会も開かれるとお聞きしました。同年に、戦後暫く活用されたジュラルミン会堂に代わって、現在の教会堂の献堂式が行われていますので、その記念に捧げられたオルガンだったと思います。それは、わたしの牧師生活初年度の出来事でした。

1963 年 11 月の教会設立 60 周年記念感謝礼拝に、戦前 23 年の長きにわたって牧会・伝道に当たられ、有為の人材を多く世に送り出された片谷武雄先生をお迎えしましたが、同 65 周年記念誌にも収録されている「恐れるな、小さな群れよ」（ルカ 12:22~34）と題されたメッセージは、今なお心に深く刻まれています。

わたしは「65 周年記念誌」の発行を最後に平尾教会に転じましたが、130 年後半初頭の 10 年余を、小倉教会で過ごさせていただいたことになります。教会周辺の様相も教会に集う人たちの顔ぶれも変りましたが、当時の中高生の何人かが今なお健在で、教会を支えておられることは本当に嬉しく、感謝のほかありません。何よりも等身大ともいえる十字架を高く掲げた教会堂が変わらない姿を見せていることは、大きな喜びであり、希望です。

同時に思うことは、教会はその本質において「集められ、散らされる」群れです。エクレシア（召し出された群れ）は同時にディアスポラ（離散の民＝派遣された人びと）としての性格と役割を併せ持ちます。65 周年記念誌所載の座談会の中に「小倉教会は移出教会」という発言もあります。その意味で、わたしは 52 年前に小倉教会牧師を辞任させていただきましたが、新しい務めに小倉教会が祈りをもって、わたしを送り出してくださったという思いを、今なお禁じることは出来ません。

既に御国に召された方々、他所に送り出された人々を含めて、多くの群れを主が起こし、導いて下さった 130 年の歩みを心から感謝すると同時に、**「世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる」（マタイ 28:20）**と言われる主の約束のお言葉に**「固く立って、動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励み」（コリントの信徒への手紙一 15:58＝口語訳）**続けたいと、心から祈り願っています。

古賀バプテスト教会員

日本バプテスト
小倉キリスト教会
元牧師
桐本 恒雄

継続は力なり

小倉教会１３０年の歴史を振り返ってみる時､歴代牧師の名前が並びますが、その背後には名前は記されていないものの、教会の交わりに加わり、同じ時代を生きた教会員一人ひとりの教会生活と、人生が含まれています。教会の歴史は、主イエス・キリストの歴史であると共に、人の歴史です。キリストの教会に人が集まるときに、様々な出会いがあり、交流があり、出来事が起こります。

小倉教会での私個人の歩みを振り返ると、神学校卒業後最初の教会であり、今思えば牧師として本当に未熟な私を、寛容な心で受け入れ、愛し、支えてくださったあの人この人の、具体的な顔を思い浮かべることができます。

歴史を重ねた教会には、教会の歴史を生き抜いてきた信徒の方々がおられます。故･大和虎雄兄の口癖「継続は力なり !!」を､今も懐かしく思い出します。

教会が恵まれ祝福された時だけでなく、厳しい試練に遭った時にも、したたかに耐え抜く信仰を持った人々がおられます。そんな小倉教会での豊かな礼拝と交わりを通して、自分が牧師として整えられ、育てられたことを心から感謝します。

これまでの１３０年の教会の歩みを導き、支えてくださった主が、これからの新しい歩みにおいても、約束された祝福を実現してくださることを信じます。

**「山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず
わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはないと　あなたを憐れむ主は言われる。」
（イザヤ書５４章１０節）**

湧金幼稚園 園庭

日本バプテスト
小倉キリスト教会
元牧師
角本 尚彦

刈り入れと収穫の新しい１３０年へ

この度は小倉キリスト教会の伝道開始１３０周年、まことにおめでとうございます。

２０２１年2月１４日の記念すべき日を皆様が迎えるにあたり、１３０年間変わらずに導いてくださった主イエス・キリストに心から感謝しつつ、御名を褒め称えます。また私自身もその教会の歴史の輪の中に加えられた恵みを、心から感謝いたします。

教会の主であるイエス・キリストは、約２０００年前に私たちの罪を担って十字架で苦しみを受け、死なれ、墓に葬られ、3 日目に復活されました。父の約束された聖霊をこの地に送ってくださり、教会が誕生しました。聖霊の力により、福音はエルサレムから始まり、ユダヤとサマリヤ全土、地の果てに至るまで広がりました。主イエスは、ご自身が立てられる教会を通して、グッドニュースを全世界に伝えておられますが、その壮大な計画の中に小倉キリスト教会が備えられていたことを、主に感謝いたします。

これまでの１３０年を通して、古船場地域から北九州全域へ主イエス･キリストが証されつづけ、多くの福音の種が蒔かれてきました。そして、主が豊かにそれぞれの家庭、学校、職場へと、その麗しい実を結ばせてくださったのではないでしょうか。そして様々な喜びと共に、多くの試練や苦難もまた乗り越える中で、全てを共に働かせて益へと変えてくださる主と出会い、これまでの教会の主との歩みを振り返ってみれば、全てはイエス･キリストからの恵みだったと感謝できることが、皆さまがまさにこの節目に体験されている奇跡であると信じています。

これから皆様方が迎えようとされている新しい次なる１３０年が、蒔かれた種から結ばれた豊かな実を刈り取り、収穫の喜びで満ち溢れる、ひとつの大きな新しい節目とされていきますよう、心よりお祈りいたします。

最後に、ハガイ書 2 章 6～9 節の御言葉を分かち合わせていただき、お祝いの言葉と変えさせていただきます。

「まことに、万軍の主はこう言われる。『わたしは、間もなくもう一度、天と地を、海と陸地を揺り動かす。諸国の民をことごとく揺り動かし　諸国のすべての民の財宝をもたらし　この神殿を栄光で満たす、と万軍の主は言われる。銀はわたしのもの、金もわたしのものと　万軍の主は言われる。この新しい神殿の栄光は昔の神殿にまさると､万軍の主は言われる。この場所にわたしは平和を与える』と、万軍の主は言われる。」ハガイ書 2 章 6～9 節

青森バプテスト教会牧師

日本バプテスト
小倉キリスト教会
湧金幼稚園 元園長
金子 洋子

湧金幼稚園の思い出

私が西南学院短期大学児童教育科を卒業後、直ぐに幼稚園教諭として勤めさせていただいたのが「湧金幼稚園」でした。

翌年、母教会の戸畑教会に幼稚園が開設されたために、小倉での務めは１年で終わりましたが、その２年後に小倉教会牧師に就任した金子と結婚。再び湧金幼稚園に勤めさせていただくことになるとは、思いもかけない事でした。

新会堂が出来たばかりで、幼稚園は従来通りのジュラルミンの仮会堂で、床が抜けたりして、また天井ではネズミが騒ぎ先生たちと箒を振り回しながら追いかけたことや、ヤマハオルガン教室の備え付けオルガンを、ごっそり盗まれたことなどもありました。

それでも保育自体は教会が設けた理事会の元で、教会教育の一環としての幼児教育にそれなりの気概を持って、気心の知れた先生たちと一緒に取り組み、長年教団で牧師をしておられた力丸師夫人や、児教の恩師でもある高橋さやか先生に園長としてご指導をいただいたりして、また母の会の協力も得て、かなり質の高い保育を提供できたのではないかと、ひそかに自負しています。

当時、少子化や場所的な問題などから園児の減少が避けられず、閉園のやむなきに至ったことは残念ですが、教会の幼児教育自体が無くなったわけではありません。夫が転任した平尾教会は幼稚園の無い教会でしたが、湧金幼稚園での経験が、週間幼児教室の開設に結び付きました。

同じように一緒に湧金で働いた故山田〈旧姓・松尾〉正子さんも、小倉教会から神学校に進まれた山田雄次先生の卒業と同時に始められた開拓伝道に当たられ、週間幼児教室を創設後、伝道と教会形成に大きな力を発揮しておられました。また湧金幼稚園卒業生の中に、バプテスト教会の牧師として活躍している人たちがおられることも、本当に嬉しく感謝なことです。

「光の子らしく歩きなさい」 エペソの手紙５：８

日本バプテスト
小倉キリスト教会
教会員
廣木 巳喜雄

母に導かれて

私が受洗したのは、昭和 28 年（1953 年）のことです。そもそも、私のキリスト教との出会いは、母の導きによるものでした。

その母がクリスチャンになったきっかけは、昭和 10 年頃、私の姉が小倉高等女学校（現小倉西高校）の生徒だったのですが、大分県の耶馬渓に遠足に行き、山国川という大きな川で、溺れかけた友達を助けようとして亡くなるという事故が起きました。その友達は助かりましたが姉は逝ってしまったのです。新聞報道されたりして、大きなお葬式になりました。自分は６才位でまだよく分からなかったのですが、白い柩が帰ってきたことは憶えています。その時の母の悲しみは深く、本当に力を落としたことと思います。それで、その時に西南女学院の生徒さんが、白百合の花と聖書を持って弔問に来て、母にそれを下さったのです。

母はその聖書にあった「人の為に命を落とすこと、それより大きな愛はない」という言葉にふれ、これで娘は救われるという思いで、キリスト教に惹かれ、当時井筒屋の前にあったナザレン教会に通い始めたのです。何故か他の兄弟ではなく、末っ子の私だけを連れて行きました。

その後戦争で宗教弾圧もあり、牧師も徴用でいなくなりました。終戦後、中津口の家から近いここに教会が建ったというので、母と通うことになりました。元々うちは、浄土真宗の熱心な信徒でしたから、親戚から耶蘇の宗教と強く非難されたそうです。その母もまた、小倉高女の出身で、国語、漢文や習字の得意な、県知事賞を貰うほど優秀な生徒だったようです。母は教育にも厳しく、ガンとした人でしたが、私は母が大好きでした。

当時のジュラルミンの教会は、雨が降るとすごい音で宣教も聞こえないほどでした。その２０才前位の教会の思い出としては、当時西南女学院の綺麗な生徒さんが沢山来ていて、自分も楽しく通っていました。若い時というのは、そういうものでしょう（笑）

その母と一緒に、24 歳の時、紫川でバプテスマを受けました。

私は、商業学校を出たあと会社員になり、休みの都合で月に １～２度しか教会で礼拝を献げられませんでしたが、熱心に通いました。私は真面目な性格で、酒も煙草もやりません。
今思うのは、教会は牧師によって変わります。そして伝道は大変なことです。牧師も信者も協力してやらねばと思います。仏教等の家の宗教を変えるというのは、とても難しいことですから。

聖書の言葉はどれも名言で素晴らしく、みんな好きです。そして実行が大事です。私の人生のモットーは、聖書に全部書いてあります。特にパウロの言葉がいいですね。教えられることばかりです。

日本バプテスト
小倉キリスト教会
教会員
川野 隆子

信仰を糧とせよ

初めて私がこの教会に来てキリスト教に出会ったのは、７０年ほど前の中学生の時でした。中学校の事務の山崎勝利先生に算盤を習っていて、その先生が通っておられたこの教会に、連れてきてくださったのです。その山崎先生は、のちに牧師になられました。
当時は、ジュラルミンの会堂でした。受洗を勧められて、1950 年頃にハワイからの伝道者藤田牧師から、紫川でバプテスマを受けました。車のない時代、当時の執事さんたちが、着替えの為の囲いを運んで下さったんですよ。
その後、高校から大学時代は、その山崎先生がおられなくなったので、教会から離れました。そして、北九州大学卒業後に、仕事でカナダに渡り、そこで日系人のいらしたアライアンス教会に通いました。8 年後に帰国してから、キリスト教をもっと学びたいと思い、広島市の日本アライアンス神学校に行きました。3 年間女子寮で過ごし、学びました。
女子寮の生活は、トイレ掃除やお茶用意の当番など、試験前には大変なこともありましたが、学校生活は楽しく、良く勉強しました。その後牧師にはならずに、小倉の家に戻って、バプテスマを受けたこの小倉キリスト教会に、再び通い始めたのです。
私の父は、お寺に生まれた人ですが、子どもの頃、近所の宣教師 A.P. ターサスさんからキリスト教を学んでいたりして、キリスト教に理解の深い人でした。私が尋ねると「イエス様を信じる」と言っていました。だから私が神学校に行きたいと言った時も、即座に許してくれました。二人の妹たちも西南女学院に通いましたし、当時学校の行事なども父が出席していました。
父は熊本町で、卵の孵化の養鶏事業をしていて、私も雛の鑑別の仕事をしていました。その仕事で、カナダに行ったのです。
私は、１０人兄弟姉妹の 6 番目ですが、父と母が大好きでした。母は私が広島に行ったとき、たっぷり援助してくれましたので、必要な買いたい本も充分買えました。両親には、とても感謝しています。そして今は、妹との二人暮らしです。背骨に病気があり、痛みはないのですが、背中がキューとなるのです。それでも、昨日も庭の草取りをするくらいで、大丈夫。元気ですよ。
若いころには、廣木巳喜雄さん三千代さんご夫妻に車で迎えに来て頂いて、毎週会堂の清掃をしたこともあり、懐かしい思い出ですね。今は出来ませんから、教会の皆さんのご奉仕には、いつも感謝しています。
そして、私にとってこうして教会に通うことは、民を創造された主を、友と共に賛美できる喜びです。私は、聖書を毎日必ず読みます。日々聖書にある「信仰を糧とせよ」その言葉通りの、信仰生活です。

（インタビュー：島　由美）

伝道開始130周年記念礼拝

2021年2月14日（日）　　司式：山本龍一郎牧師
10:30-11:30am　　奏楽：岡嶋利加姉
祝辞代読：緒方幸世姉、島由美姉

前　奏		奏楽者
招きの言葉	イザヤ書58章11節	司式者
祈　祷		司式者
賛　美	新生 36番（空のあおさよ）1,4,6節	一　同
主の祈り		一　同
祝　辞	金子純雄 牧師（1958-68）	代読者
	桐本恒雄 牧師（1982-89）	
	角本尚彦 牧師（2004-12）	
	金子洋子 湧金幼稚園 園長（1968-69）	
特別賛美	新生 339番（教会の基）1,2,3節	聖歌隊
聖　書	ルカによる福音書13章10～17節	司式者
宣　教	「解放される道」北九州地方連合宣教支援センター主事	齊藤弘司師
祈　祷		同　上
賛　美	新生 297番（主によりてあがなわる）1,2,4節	一　同
献　金		代表祈祷：大庭博子姉
頌　栄	新生 679番（ベネディクション）	一　同
祝　祷		齊藤弘司師
後　奏		奏楽者

～～～

オルガンコンサート

1:00-2:00pm
（開場12：30pm）

プログラム

F. ペーテルス 「60の小品」より マーチ/ 瞑想/ コラール

文屋知明 イギリス民謡によるメドレー
J. ボルステルマン 「ぶんぶんぶん」による変奏曲
テーマ/ 忙しい蜂/ 眠い蜂/ 女王蜂/ 蜂の群れ

ヨハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ
「キラキラ星」による変奏曲より

J. ブレ 「小さな鐘」
L. ボエルマン 「神秘的な詩」より

賛美歌メドレー
アメージング・グレース/ あなたも見ていたのか/ 主われを愛す
かいぬしわが主よ/ 愛と慈しみのあるところ/ 主イエスの道を

演奏者紹介
福田のぞみ【オルガニスト】
福岡女学院高校音楽科、洗足学園音楽大学パイプオルガン専攻卒業。
在学中、日本オルガニスト協会第3回オルガンコンクール入選。1998年夏、北九州聖楽研究会と共にドイツのライプツィヒで現地古楽アンサンブルと共演。2019年8月スペイン・バスク地方のUrdaibaiko音楽祭に出演。現在、西南学院大学神学部非常勤講師。西南学院大学、北九州聖楽研究会、富野バプテスト教会オルガニスト。

当日は、開催につきまして、検温、消毒、三密の回避などの十分なコロナ感染対策を
講じています。皆様のご協力に心より感謝いたします。

130年の思い出

1908年当時の小倉浸礼教会
SEBTS Archives
Homma Family Collection

鶴原五郎氏

後藤六雄師

＝1891年 講義所開設に尽力された両氏＝

1958年現会堂完成

会堂建築中

当時の会堂内観

戦後 紫川で

2019年会堂バプテストリーで

＝バプテスマ式 今昔＝

2020年生活困窮者のための棚を設置

教会正面の十字架

2021年女性の会【NPO 法人抱樸の炊き出し支援】

満開の桜の下で

イースターエッグ

大人と子どもの絵本の読書会

2019年外国人伝道ツール
としてベトナム語聖書配備

2020 年クリスマス聖歌隊特別賛美

2017年三浦綾子読書会

クリスマス アドベントクランツ

☆ 肖像権の侵害を避けるために、個人を特定できる教会学校などの写真は掲載しておりません。

年	●牧師　★宣教師　◆協力牧師　▲園長　◎相談牧師	
1891 (M24)	2 月小倉講義所開設。前年若松に、同所在住の事業家鶴原五郎氏のお働きと、伝道者として山口から導かれた後藤六雄牧師により、九州最初のバプテスト講義所開設。その後お二人によって、小倉の宝町 53 番地（現井筒屋付近）に設けられる。 同年 10 月それまでの北部バプテストから、南部バプテストの伝道地域に継承される。	●後藤六雄牧師
1892	ブランソン宣教師とマッコーラム宣教師が来倉し京町 1 丁目に居を構える。 **《当時の小倉は人口 15,000 人ほどの街で、同年 4 月には門司～黒崎間に鉄道が開通し、小倉駅は室町に作られ、教会周辺も人通りで賑わう》** 当時 16 人の受浸者と 25 人の会員、20 人の求道者があったと報告。	★ブランソン師 ★マッコーラム師
1894 1895 1903 1905	川勝鉄弥牧師が横浜浸礼教会より来倉し、マッコーラム師一時帰米。 メイナルド宣教師福岡より来倉。師は宣教師館が建造されるまで、土蔵の民家で不自由な生活を送り、健康を害しながらも日本を去るまでの１６年間、小倉伝道に尽力。 当時、礼拝出席者 12 ～ 20 人、日曜学校 50 人ほどで、家庭集会や訪問伝道も盛ん。 **《1900 年（明治 33 年 4 月）小倉市制定》** 教会組織、小倉浸礼教会と称す。初代牧師は川勝鉄弥師。 八幡で伝道開始。川勝、メイナルド両師がその開拓に当たる。	●川勝鉄弥牧師 ★メイナルド師
1908	メドリング宣教師来倉。川勝牧師は伝道の為、下関に就任。代わって下関より池田清造牧師が着任。	★メドリング師 ●池田清造牧師
1911 (T 2)	藤沼了顕牧師着任。ウイリングハム宣教師小倉に定住。その後 7 年間北九州一円の宣教に尽力。	●藤沼了顕牧師 ★ウイリングハム師
1913	小野兵衛牧師が札幌より着任。	●小野兵衛牧師
1918	青柳 茂牧師着任。ホールデン宣教師来倉。	●青柳 茂牧師 ★ホールデン師
1920 1922 1924 1925 1933 (S 8)	仙台より片谷武雄牧師着任。小姓町 4 丁目（現堺町公園辺り）にて、教会献堂式挙行。礼拝堂と幼稚園を建造。初代幼稚園園長にチャイルス宣教師 (後に西南女学院創立者ロウ師と結婚)。 片谷牧師の按手礼式挙行。 教会の自給自足を断行。前年の金森伝道で 3 日間の出席者 875 人、決心者 250 人、バプテスマ志願者 48 人に及び、教勢は倍以上に伸びる。翌年の自給独立は、バプテストにおける最初の快挙。 自給独立宣言をなす。ランカスター師によりバイブルクラス開始。 この大正末から昭和 10 年頃までは、連日多くの特別講師による集会が開催されたと記録される。 野辺地天馬、日野原善輔、森永太一郎、賀川豊彦など、その頃のキリスト教各派各界の指導者たちを網羅しており、時代の暗雲を吹き払おうとする、教会の祈りと熱意が感じられる。 片谷牧師、湧金幼稚園園長となり、ミッションから独立。	●片谷武雄牧師 ★▲チャイルス師 ★ランカスター師 ▲片谷武雄牧師

年		
1940 1941	教会名を小倉バプテスト教会から、小倉基督教会に改名。 片谷牧師辞任。教会は名誉牧師に推挙の決議。	
1942	沢野正幸牧師就任。 **《戦局は次第に厳しくなり、教会員は動員また疎開で離散し、牧師も徴用され、1945 年の終戦を前に、強制疎開で会堂は壊された》**	●▲ 沢野正幸牧師
1945	戦後いち早く小倉に集まった教会員は、シオン山教会の菅野救爾牧師助力のもと、橋本数太、力丸良之助両氏宅で礼拝を守る。ターレー、バロー、ミラー各宣教師によりバイブルクラス再開。	◎菅野救爾牧師 ★ターレー師 ★バロー師 ★ミラー師
1948 1949 1950	現在地の古船場 5 丁目に土地を購入。中村佐一牧師就任。 ジュラルミンの組立式会堂と、牧師館を建設。中村牧師按手礼式挙行。 幼稚園を「めぐみ幼稚園」として再開。	●中村佐一牧師 ▲中村敏子氏
1952 1953 1957	植木基介牧師就任。幼稚園を従前の「湧金幼稚園」に改名。福岡県の正式認可を受ける。設置代表者は西村伝介氏。 自給独立教会となる。教会設立 50 周年記念礼拝挙行。北方伝道所（後の春ヶ丘教会）発足。 植木牧師は辞任、後関西学院大学に学びつつ尼崎開拓伝道に従事。	●▲ 植木基介牧師
1958 1959 1962 1963 1965 1968	金子純雄牧師就任。現会堂献堂式挙行。ヤマハ・リード・オルガン献納。 北方伝道所の土地を購入。翌年カルコート師により、芦屋基地の古材使用の仮会堂建設。 北方伝道所に上門 治牧師就任。翌年牧師館完成。 **《1963 年 2 月（昭和 38 年）門司、小倉、戸畑、八幡、若松の 5 市合併により北九州市制定》** 金子純雄牧師按手礼式挙行。 バプテスト新生運動チーム集会に、米国テキサス州ロングビューよりフォード博士夫妻、シアトルよりロイス博士夫妻を迎える。 11 月教会設立６０周年記念礼拝を、片谷武雄牧師夫妻を迎えて挙行。 山田雄次、内村 茂両兄を、西南学院大学神学部に推薦。 ウォルターズ宣教師就任。	●▲ 金子純雄牧師 ▲力丸郁子氏 ▲高橋さやか氏 ▲金子洋子氏 ★ウォルターズ師
1969 1971 1974	光来出 政治牧師就任。 スウェーデンバーグ宣教師就任、バイブルクラスで奉仕。 1971 ～ 1985 年の間、ホルト、＊フレング、ハフマン、ロビンソン、ベーカー、ミッチェル、カーゾウェル、ストロー等多数の宣教師が バイブルクラスで奉仕。 水田三郎兄、川野隆子姉が献身。水田兄を西南学院大学神学部へ推薦、川野姉は広島のアライアンス神学校へ。	●▲ 光来出 政治牧師 ★スウェーデンバーグ師 ★ホルト師 ＊各師

日本バプテスト小倉キリスト教会略史

年		●牧師　★宣教師　◆協力牧師　▲園長　◎相談牧師
1982 1983 1986	桐本恒雄牧師就任。 教会設立 80 周年記念礼拝と記念集会挙行（講師：金子純雄牧師）。 桐本牧師按手礼式挙行。 ナンシー・ノートン師ハンドベル・クワイヤーを組織。 坂東資朗兄を西南学院大学神学部へ推薦。 ミッチエル師バイブルクラス再開。	●▲ 桐本恒雄牧師 ★ミッチェル師
1988	岩阪憲和師協力牧師として就任。	◎岩阪憲和牧師
1989 （H1） 1991 1993	副田一朗牧師就任。 伝道開始 100 周年記念礼拝挙行。 北九州ホームレス支援事業 " 抱樸 " の炊き出し活動開始に協力参加。 《 1995（H7）阪神淡路大震災が発生し、犠牲者は 6,434 人に達した》	●副田一朗牧師
1997 1999 2001 〜 2004	杉嶋輝静牧師就任。 湧金幼稚園閉園感謝礼拝を、桐本恒雄牧師を迎えて挙行。 牧師館改築。 会堂改築（冷暖房･音響設備等含）感謝礼拝挙行。	●杉嶋輝静牧師
2004 2010 2011	角本尚彦牧師就任。 湧金幼稚園記念碑建立記念式挙行。 メモリアルルーム (納骨堂) 設営。 多数の定期小グループ活動のひとつとして、大人と子どもの絵本の読書会 活動開始。 《東日本大震災による、大津波、火災等で 22,000 人余の死者･行方不明者が発生。また、福島第一原子力発電所事故による災害も引きおこされた》	●角本尚彦牧師
2013	藤田英彦師応援牧師（相談牧師）として就任。	◎藤田英彦牧師
2016 2020 （R 2） 2021	山本龍一郎牧師就任。 《新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）により、教会活動にも未曽有の大変化 起こる》 礼拝ビデオ配信開始。 伝道活動として、教会入口に生活困窮者支援の為に食品等を提供する棚を設置。 2 月 14 日伝道開始 130 周年記念礼拝挙行、また修復されたリード･オルガンのコンサート開催。	●山本龍一郎牧師

参考資料＊「小倉伝道 23 年の回顧」片谷武雄著 1965 年発行＊「ましみず」教会設立 65 年記念 1968 年発行＊小倉教会アルバム 1987 年発行
＊「光の子」湧金幼稚園閉園感謝記念 1997 年発行＊総会資料･週報＊日本バプテスト連盟史
＊日本バプテスト広島キリスト教会資料＊若松バプテスト教会資料＊西南女学院資料

「伝道開始130周年記念礼拝」2021年2月14日　集合写真

＊当日は、新型コロナウイルス感染予防のため、検温、消毒、三密を避ける座席指定等の対策を講じました。参加者は全員マスク着用で写真を撮影しました。マスクの中は笑顔です(*^^*)

２０２０年度現在会員

礒田　克子	上原　眞美	大庭　国雄	大庭　博子
岡嶋　利加	緒方　幸世	門植　直子	川野　隆子
岸本　佳代子	楠目　眞理子	小山　領子	斉藤　良子
里村　照子	塩谷　二三子	島　由美	嶋田　涼美
妹尾　静枝	高木　巳知子	ﾁｬﾄｩﾙヴェディ由起子	土谷　昭子
土谷　寿治	中西　信洋	中西　弥生	東　彩子
広木　志保子	廣木　巳喜雄	廣木　三千代	藤井　里恵
藤川　浩三	古川　敬康	宮川　優子	宮原　亮子
森永　京子	山口　梨恵	山本　恒	山本　永実
山本　佐智子	山本　真理香	山本　龍一郎	

伝道開始 130 周年記念事業実行委員会

委員長：廣木 巳喜雄

委　員：大庭 国雄、大庭 博子、島 由美、嶋田 涼美、妹尾 静枝、チャトゥルヴェディ 由起子、土谷 昭子、宮原 亮子、森永 京子、山本 恒、山本　龍一郎

伝道開始 130 周年記念
日本バプテスト小倉キリスト教会

2021 年 3 月 30 日　発行

発行者　日本バプテスト小倉キリスト教会
牧師　山本 龍一郎
〒802-0082
福岡県北九州市小倉北区古船場町 9-14
HP：kokuracc.com
印刷 / 製本　オリンピア印刷株式会社
〒550-0002 大阪市西区江戸堀 2-1-13

130th Anniversary in 2021

日本バプテスト小倉キリスト教会

JAPAN BAPTIST KOKURA CHRIST CHURCH